

石のひっじ だより

地域行事

隠徳庵のしびきせ祭り (小倉の三奇祭)

12月15日に小倉南区の隠蓑で珍しい祭りが行われました。「壇ノ浦の戦い」(1185年)で敗れ、源氏に追われた幼い安徳天皇に、わら(しび)をかけてかくまったという伝説にちなんだ祭りです。戦前までは、安徳天皇を偲ぶ「十五日祭り」として、外部に公開すること無く密かに執り行っていました。戦後時代の変化に伴い一般に公開するようになりました。お祭りは古くから安徳天皇陵を代々お守りしてきた十一戸(現在は九戸)で、町内の助勢を受けながら传承しています。

お土産は、わらの中に、新米の餅で作った御くつがた(1足2枚)、御箸(椎の木製2本)、御楊枝(椎の木製1本)、新米で作った人形(安徳天皇)とその下に敷く網代(真竹製)を入れたものです。



今年の安徳天皇役の優菜ちゃん(7月生れ)とお母さんに神主がわら(しび)をかけ、無病息災を祈りました。



近くの幼稚園児や小学生も参加しており、見ていて楽しくなりました。



お土産

安徳天皇御陵境内見取り



☆ イベント報告 ☆

「鍾乳洞コウモリ観察会」12月6日(日)

応募多数の為、6班に分かれて行動しました。茶ヶ床から青龍窟までは徒歩で移動し、洞内観察は旧観光洞及び洞口ホールで行いました。年々コウモリ数が減ってきており、今回観察できた冬眠中のコウモリは8頭でした。その他に、カマドウマ、ヤスデ、オオゲジ、サワガニなどが観察出来ました。暗闇体験なども行い普段経験することの無い洞窟探検も味わえ、とても好評でした。(参加者：一般55人、ボランティア10人、スタッフ2人)



オオゲジ キクガンラコウモリ

コウモリは天井にぶら下がってるんだね!

「ミニ門松作り」12月23日(水・祝)

20日が積雪の為に、23日に延期して実施しました。親子での参加が多く、皆さん楽しそうに製作していました。特に飾り付けには苦心の跡が見られ、個性的な作品が沢山出来ました。ボランティアの方々のサポートで怪我も無く、無事にイベントを終えることが出来ました。正月に歳神様を迎える風習は年々薄れていますが、良い経験になったようでした。(参加者：一般19人、ボランティア8人、スタッフ3人)



☆ イベント情報 ☆

● 名山登山

冬山の厳しさや楽しさを体験してみよう!
開催日：平成22年1月11日(祝)
時間：9:00～15:00
定員：30名
〆切：1月4日(月) 必着

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。
開催日：平成22年1月15日(金)
時間：10:00～16:00
対象：一般10名(材料費：2,000円)
〆切：1月8日(金)

● 竹で遊ぼう(竹細工)

竹を使った自然工作。
開催日：平成22年1月24日(日)
時間：9:30～12:00(※雨天実施)
定員：20名
費用：高校生以上500円、小・中学生200円
〆切：1月17日(日) 必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

● カリスト文化祭作品展

皆さんから寄せられた平尾台に関する俳句・絵画・写真などを多数展示します。
展示数：約30点
開催日：12月1日(火)～1月30日(土)
(9:00～17:00) ※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

野の花スケッチ

アオキ (ミズキ科アオキ属) 青木

神社の森やドリーネの底に生えてる高さが2～3mになる常緑樹です。雌雄別株で4月～5月に紫褐色の花弁が4枚、径が約1cmの花を枝先に沢山つけます。雄花にはオシベが4個あり、雌花には中央に花柱があります。実の長さは1.5～2センチの長楕円形で、12月から5月頃まで付いています。今の時期、赤く熟した実と、まだ未熟な緑の実が混在し、また光沢もあり美しいものです。名前の由来は、一年中、青々としていることから付けられたそうです。日本固有種。(進藤)



保護指定なし

「平尾台自然保護活動」大平山ペイント除去作業 12月12日(土)

福岡県自然環境課主導で、天然記念物エリア内にある大平山の石灰岩に落書きされた赤色のペンキを、キリやハンマー等を使って除去作業を行いました。センターボランティア、北九州市立大学生、地元住民、関係者(県自然環境課・文化財保護課、北九州市文化財課、いのちのたび博物館、緑政課)や自然公園指導員など総勢35名が参加しました。その様子は、読売・毎日新聞、NHKで取上げられました。今回の活動が違法行為の撲滅に繋がり、素晴らしい平尾台の自然景観を、未来の子供達に伝えて行けると信じます。残った箇所は落書きは専門業者の手で除去を行う予定です。



石のひっじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の絶景

平尾台の絶景ポイントから見える景色を不定期で連載。

センター裏山



特に、ここから県道越しに見下ろす川ドリーネ(平尾台を代表するウパーレ)は、全体が良く見え素晴らしい景観です。



裏山へ登る途中で振り返ると、当センターや平尾集落がよく見えます。

☆ イベント報告 ☆

「貫山登山」1月11日(日)



曇り空で一時小雨模様になりましたが、何とか貫山へ登頂しました。山頂は流石に風が冷く、山頂直下の林道で昼食を食べました。四方台から中峠までは、冬の寒さを体感しながらの下山でした。しかし、登れて良かったとの感想が多く、実施した甲斐がありました。(参加者:一般36人、ボランティア11人、スタッフ2人)

「竹で遊ぼう」1月24日(日)

事前に部品を準備しておいたカタツムリやウサギ、クワガタムシを製作した後で、自由製作を行いました。途中、子供達は竹ぽっくりや水鉄砲等で遊びました。「親子で楽しい時間が過ごせて良かった。」「いろいろな作品が作れて良かった。」などの感想を頂きました。また、スタッフが製作しておいた竹とんぼや箸、豆鉄砲等をお土産にしました。(参加者:一般5人、ボランティア1人、スタッフ2人)



試作品

☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。
開催日:平成22年2月19日(金)
時間:10:00～16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:2月12日(金)

●絶景ハイキング

平尾台の冬の雄大な景色を楽しもう。
開催日:平成22年2月21日(日)
時間:9:30～15:00
定員:30名
〆切:2月14日(日)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●平尾台野草写真展

自然の郷で活動する『野草勉強会』の方々が撮影された野草写真などを展示。
展示数:約40点
開催日:2月2日(火)～3月30日(火)
(9:00～17:00) ※入館16:30まで
場所:センター1F展示室



平尾台スケッチ

今回から、野の花だけでなく、より対象を広げ平尾台の自然全般をスケッチに切り取り連載します。

ジョウビタキ (ヒタキ科ツグミ亜科) 刷鵲

L(全長)15cm W(翼開長)22cm 保護指定なし
雄は頭の上が灰色で、喉、背中、翼と黒く羽の一部だけに白斑があり『モンツキ』とも呼ばれています。腹はオレンジ色をしていて、目立つ鳥でもあります。この絵は雄ですが、雌は全体的に灰褐色で、腰から下がオレンジ色です。縄張りを持ち、木立の目立つところに止まって、ヒッヒツとか、カッカッと盛んに鳴いています。餌は、木の实や地上に舞い降りて小さな昆虫を食べたりしています。日本では、冬鳥として、秋に飛来し、春にはまた繁殖地である、中国西部からウスリー、サハリンに帰って行きます。平尾台では去年の10月20日頃に飛来しました。(進藤)



N. Shindo

地域行事 井手浦尻ふり祭り (小倉の三奇祭)



1月8日に平尾台山麓の井手浦地区で、約400年前から続く祭りが行われました。昔、平尾台で暴れていた大蛇を神様が退治した時、しっぽが井手浦(山田の森)に落ちてきて勢いよく跳ね、その年はたいそう豊作になったという伝えによる五穀豊穡、無病息災を祈念する男性の祭り。お神酒を飲んだ東大野八幡の宮司、今年と来年の当番座元の三人が勢い良く尻を振りました。わらで作った大蛇を退治した後、中に入れてある干し柿に子供も大人もいっせいに群がりました。四つある隣組(45軒)が持ち回りで行い、以前は当番座元の家で祭りを行っていたが、平成5年より公民館の広場で行うようになりました。

1月8日に平尾台山麓の井手浦地区で、約400年前から続く祭りが行われました。昔、平尾台で暴れていた大蛇を神様が退治した時、しっぽが井手浦(山田の森)に落ちてきて勢いよく跳ね、その年はたいそう豊作になったという伝えによる五穀豊穡、無病息災を祈念する男性の祭り。お神酒を飲んだ東大野八幡の宮司、今年と来年の当番座元の三人が勢い良く尻を振りました。わらで作った大蛇を退治した後、中に入れてある干し柿に子供も大人もいっせいに群がりました。四つある隣組(45軒)が持ち回りで行い、以前は当番座元の家で祭りを行っていたが、平成5年より公民館の広場で行うようになりました。



接待の赤米や小豆の赤飯と黒豆
わらで作った約5mの大蛇頭は寅の刻の向き(寅年)

石のひっこじ だより

平尾台の生きもの

熟柿に集まる鳥たち 12月になり渋柿が熟し始めると、様々な野鳥が食べにやって来ます。



シロハラ

1月23日

初めに気付いたのはツグミの姿でした。それからはヒヨドリ、シロハラ、ハシブトガラス、キジバト、シジュウカラ、スズメなどが食べに来ていました。天気の良いお昼時にフィールドスコープを覗くと、なにやら大きな鳥が柿を食べていました。キジのオスです。柿の実を食べているキジは、初めて観ます。それも人家の庭先にある柿の木にいたのでとてもビックリしました。2回目撃しました。一番良く食べに来るのがヒヨドリでした。ヒヨドリは他の小鳥を追い払い柿の実を独占しようします。野鳥たちは、2月の初旬に柿の実を食べ尽しました。



キジ

1月23日

マミチャジナイ (ヒタキ科ツグミ亜科) L=22cm

繁殖地はバイカル湖からカムチャッカ、越冬地は中国南部、フィリピン、インドネシアなど。日本では旅鳥ですが西南日本では稀に越冬。センター研修室裏の地面を歩いていたので、最初はシロハラかなと思いましたが、ボランティアの進藤さんが撮影した写真を見てマミチャジナイと判明。その後も居ついている為、平尾台で越冬しているのかも？シナイはシロハラ(ツグミ)の別名だそうです。ミズキなどの木の実をよく食べます。



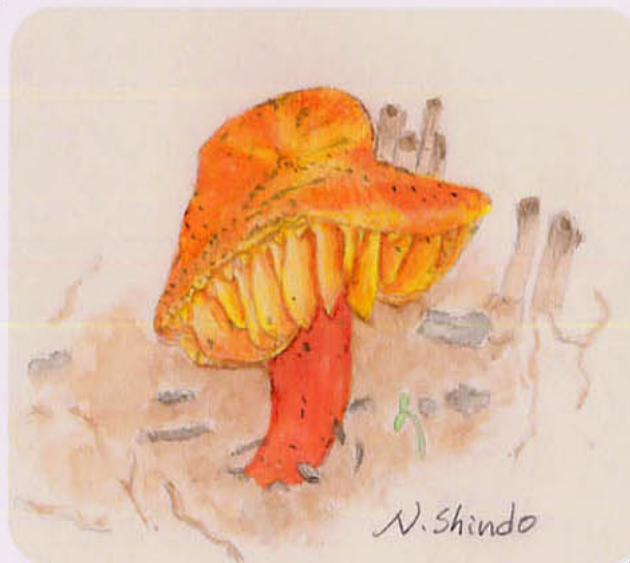
1月28日

平尾台スケッチ

ベニヤマタケ (ヌメリガサ科アカヤマタケ属)

ネザサの根子や野焼き後のススなどに阻まれながら、イビツな形ながら、一生懸命出てきたといった感じのある平尾台のベニヤマタケです。初めは小さなベルの形をして出てきますが、この絵は終りごろの傘が開ききったものです。普通は傘が4.5センチくらいになります。色も最後は多少黄色っぽくなります。鮮やかな赤いこのキノコを平尾台の草原で見つけると、『ああ、もう春が来たのだな〜!』と実感します。平尾台ではなかなか見つけることが出来ないキノコです。もし、出会えた方は、ラッキーですね。(*^_^*) この絵は、昨年3月26日、「福岡きのこの会」の方々と歩いたときに、発見して写真に撮ったものを描きました。(進藤)

紅山茸



N. Shindo

☆ イベント報告 ☆

「絶景ハイキング」2月21日(日)



周防台 桶ヶ辻

不動山

不動坂

コース(約3km)は、センター～コスモス洞～不動山～不動坂～風神山～大かんの台～風神山(昼食)～三笠台～千貫岩～産須根の穴～センター裏山～センター。地の果て(断崖景勝)から周防台

～天狗岩への雄大な景色や三笠台からの平尾台の眺めに、しばし時間を忘れて見とれていました。また千貫岩(ピナクル)の大きさを動物と比較したり、ドリーネの中にある産須根の穴を外か

天狗岩



集合写真(風神山)



千貫岩

ら観察しました。「天気が良く、雄大な景色を楽しめた。」「ガイドボランティアの説明が丁寧で分り易かった。」などの感想を頂きました。(参加者:一般24人、ボランティア8人、スタッフ2人)

☆ イベント情報 ☆

● **アートフラワー講座**

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成22年3月19日(金)
時間:10:00～16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:3月12日(金)

● **焼け野原ハイキング**

野焼き後の平尾台鑑賞ハイキング
開催日:平成22年3月22日(祝)
時間:9:30～15:00
定員:30名
〆切:3月15日(日)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

● **平尾台野草写真展**

自然の郷で活動する『野草勉強会』の皆さんが撮影された野草写真を展示しています
展示数:65点
開催日:2月2日(火)～3月30日(火)
場所:センター1F展示室

● **野焼き写真展**

野焼きについての写真を展示しています
展示数:約30点
開催日:2月17日(火)～3月30日(火)
(9:00～17:00) ※入館16:30まで
場所:センター1Fエレベータホール

平尾台クリーン大作戦 参加者大募集!

日時:3月27日(土)10:00～13:00
3月28日(日) ※予備日

集合場所:平尾台自然観察センター

応募方法:往復ハガキ、電話、FAX、Eメール

〆切:3月20日(土)
(当日参加もOK)

参加者には、
ぜんざい(一杯)とタオルの
プレゼントがあるよ!



開会式 2009年度のクリーン大作戦

みなさんの優しい心と汗で、平尾台をもっともっときれいにしよう!

主催:福岡県 平尾台自然観察センター
共催:北九州市 行橋市 苅田町 みやこ町 香春町
平尾台自然の郷

石のひっこじ だより

野焼き 3月19日（金）



れ、野の花の競演が始まります。大勢の花好き、山好きの方で平尾台が賑わいます。既にスマレなどの春の野草が咲き始めています。

今年は天候との巡り合わせが悪く、2月28日の予定が5回も延期され、やっと3月19日（金）に実施されました。しかも、前日に降雨があり、ひやひやの野焼きでしたが、予想以上にキレイに焼けました。こんなに伸びたのは初めてとの事でした。しかし遅い野焼きは、芽吹き始めた植物への影響が心配されます。これから、野焼き後の黒々とした台地が、しだいに緑に覆わ

野焼き前



大平山

野焼き後



大平山

平尾台スケッチ

センボンヤリ（キク科センボンヤリ属） 千本槍

やっと野焼きが終り、黒い大地から元気に咲き出したセンボンヤリは、花茎や葉の裏に白いクモ毛が密生していて、春の光に輝いて見えます。春の花は、花びらの内側が白っぽく、外側がピンク色をしています。草丈は約5cm～15cmで、花も葉も、春は小さく可憐な姿ですが、秋には花びらを持たない閉鎖花がのびてきます。これが同じ植物の花かとビックリしますが、センボンヤリという名前は、この姿を槍に見立てたものです。平尾台もこれから刻一刻と緑が伸びてきて、変わり行く風景や植物を楽しみながら、ノンビリ歩ける季節になりました。（進藤）



☆ イベント報告 ☆

「焼け野原ハイキング」3月22日（月・祝）

野焼き後の焼け野原に隠された秘密を探しながら歩きました。コース：センター～見晴台～茶ヶ床～中峠～岩山～キス岩～茶ヶ床～深窪～山神社～センター。参加者からは、「こんなにたくさんの岩があったんだ。」「こんなところに深い穴があるよ。」「原始の自然を感じるなあー。」「あの岩はゾウに似ている。」などの声が聞かれました。また、山神社では春の妖精トガリアミガサタケ（きのこ）も観察しました。（参加者：一般21人、ボランティア8人、スタッフ2人）



岩山山頂

トガリアミガサタケ

早春のどか雪 3月10日

3月9日から雪が降り始め、10日の朝は5cm弱の積雪でしたが、終日吹雪となり、夕方にはセンター（標高350m）でも30cmを超えるどか雪となりました。地元の方もビックリしていました。センタースタッフもこの大雪で車がスリップして苦勞を強いられました。今シーズン一番の積雪で、進みゆく春に若干プレーキがかかったようです。



ラクダ山

千貫岩駐車場から

平尾台の生きもの 早春の野草や生き物

今年の2月下旬はポカポカ陽気が続き、生き物たちが活発に活動をしていました。キジはケーンケーンとさえずり、早くもルリシジミやシロチョウの仲間がスズシロソウやオオイヌノグリの蜜を求めて飛び回っていました。



2月27日 キジのオス（♂）



ルリシジミのメス（♀）

2月28日 スズシロソウ



2月28日 オニシバリ

☆ イベント情報 ☆

●カルスト台地の不思議

ドリーネ（くぼ地）の中で不思議を体感！
開催日：平成22年4月11日（日）
時間：9:30～15:00
定員：20名
〆切：4月4日（日）必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日：平成22年4月16日（金）
時間：10:00～16:00
対象：一般10名（材料費：2,000円）
〆切：4月9日（金）

●大平山ハイキング

カルスト地形と春の野草を楽しむハイキング
開催日：平成22年4月29日（木・祝）
時間：9:30～15:00
定員：30名
〆切：4月22日（木）必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●平尾台野草写真展

ボランティアの荒木猛夫さんが撮り溜めた選りすぐりの野草写真展
展示数：約50点
開催日：4月1日（火）～5月30日（火）
場所：センター1F展示室

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

地域行事 等覚寺松会 4月18日(日)

英彦山を中心とした豊前六峰(山岳修験道)の一つが、普智山等覚寺(荻田町)。平尾台の中腹(標高約300m)にあり、山伏の末裔が住む小さな村(現在13戸)です。松会の神事は、954(天歴8)年、谷之坊覚心によって始められたと言われ、千年以上の歴史を誇っています。平成10年、国の重要無形民族文化財に指定。祭りのクライマックス「幣きり」は、豊前修験道特有の文化で、全国でここ等覚寺にしか残っていない貴重な神事です。祭りの主役を務める施主が、松庭に立てられた高さが三十三尺(約10m)の松柱に登り、御幣の幣竹を刀で切り落とし、その年の豊凶を占います。毎年4月の第三日曜日に行われ、大勢の見物客で賑わいます。



平尾台スケッチ

ベニカミキリ (カミキリムシ科ベニカミキリ族)

紅髪切 (天牛) 保護指定なし

体調13-17mmで、あまり大きくないカミキリ虫ですが、赤くてよく目立ちます。卵は枯竹や伐採竹の裂け目や傷跡に産み付けられ、孵化した幼虫は竹の中に潜入して若令幼虫で1年目の冬をこします。翌春越冬からさめた幼虫は竹の内部を食べて育ち、夏に蛹になります。蛹になって2週間ほどで羽化しますが、成虫はそのまま竹の中で2年目の冬を越し、翌春になって外にでます。産卵されてから成虫になって外にでるまでまる3年を要します。成虫は4~7月頃にクリやガマズミ等の花によく集まっています。(進藤)

参照:山溪フィールドブックス6 甲虫



N. Shindo

☆ イベント報告 ☆

「平尾台クリーン大作戦」3月27日(土)

今永小倉南区長よりご挨拶を頂き、クリーン大作戦をスタートしました。今年是一般4コースの他にトレイルランチームと特別班の6コースに別れ、野焼き後の平尾台でゴミ拾いを行いました。参加者は昨年の125人から倍近い208人の参加でした。約2時間で回収したゴミは軽トラック5台分と昨年の2.5倍、ゴミの内訳は冷蔵庫1台、OAテーブル1脚、鉄パイプ、板ガラスや空き缶などで、昔の名残のジュースのビンなども多数ありました。

親子連れで参加している子供たちも一生懸命にゴミを拾い、平尾台をキレイにしてくれました。この子供たちが将来、平尾台のみならず地球全体の自然について真剣に考えてくれたらいいと思います。(参加者208人:地元企業55人、地元住民20人 一般106人、行政4人、センターボランティア18人、スタッフ5人)



☆ イベント情報 ☆

●春の野草観察会

シランなどの春の野草を観察します
開催日:平成22年5月12日(水)
時間:10:00~15:00
定員:20名
〆切:5月5日(水)必着

●平尾台の虫観察

平尾台で見られる春の虫の観察
開催日:平成22年5月16日(日)
時間:9:30~15:00
定員:20名
〆切:5月9日(日)必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成22年5月21日(金)
時間:10:00~16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:5月14日(金)

●案内板整備ボランティア

散策道の木製案内板の更新整備
開催日:概ね毎週土曜日
時間:9:00~15:00
随時受付 *詳細はお問合せ下さい
※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●平尾台野草写真展

ボランティアの荒木猛夫さんが撮り溜めた
選りすぐりの野草写真展
展示数:約50点
開催日:4月1日(木)~5月30日(日)
場所:センター1F展示室

ボランティア研修「カルスト台地の不思議」

4月4日(日)

浦田健作博士(日本洞窟学界副会長、カマネコ探検隊長)に講師になって



大久保の谷

掃り水

頂き、ドリーネの出来方を中心に研修を行いました。研修室で、ドリーネの話をして頂きフィールドでに出ました。牡鹿洞から川ドリーネに降り、大久保やぬかみそくぼ、シランの谷等を観察しました。平尾台のドリーネの多くは、ランプロファイア岩脈や断層などの割れ目から雨水が染込み発達、また皿状ドリーネは、ASO4(阿蘇カルデラ:約8万年前)火山灰で覆われているなどの貴重なお話を頂きました。(参加者:ボランティア11人、スタッフ2人)



断層



石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

ボランティア研修

「カルスト湧水めぐり」4月25日(日)

元いのちのたび博物館学芸員の藤井厚志博士(地質学)に講師になって頂き、平尾台西側山麓の湧水を巡りました。カルスト台地に降った雨水が、石灰岩の中をどのように流れ、どんな場所から湧き出するのか等を、データに基づき、想像力を駆使して、興味深い話をして頂きました。訪れた場所は、お糸池(呼野)、白谷の湧水(小森)、大清水、小清水(市丸)、立花湧泉(井手浦)。現地へは車を乗合せて行きました。(参加人数:ボランティア12人、スタッフ2人)



案内板整備ボランティア 4月17日, 24日, 5月8日, 15日, 22日(土)



今年度新たに始めたボランティア活動です。散策道の案内として以前建ててあった木製道標が古くなったため、より分かり易い道標に建て替えています。案内板の製作班と設置班に分かれて順調に作業が進んでいます。4月と5月に、堂金山～不動山～大かんの台、三笠台、らくだ山、周防台～天狗岩、水晶山方面など約50%の更新作業が終了しました。(参加人数:ボランティア延べ45人、スタッフ1人)

今月の「平尾台スケッチ」はお休みです。

平尾台の生きもの キクムネクマバチ

ミツバチ科クマバチ属

分布:北海道、本州、四国、九州、屋久島
体長:23mm 発生時期:4～10月
クマバチがホタルカズラの花の周りでごそごそしているので、興味が湧き調べてみました。「クマバチは花の根元に穴を開け、蜜だけ食べる。また、停止飛行をしながら、縄張りに飛んできた蝶や鳥を追い払う(実はメスを探している)。枯木に巣穴を開け、蜜と花粉を集め産卵する。外見はどう猛そうだが、実は意外とおとなしい。オスには針が無く、メスにはあっても脅かさない限り刺さない。」などが分かりました。オオスズメバチをクマンバチと呼ぶことがあり紛らわしい。



☆ イベント報告 ☆

「大平山ハイキング」4月29日(木・祝)

風が少し冷たかったけれど、好天に恵まれ快適なハイキングになりました。三班に別れガイドボランティアの皆さんが案内しました。春の野草を愛でながら、カルスト地形の不思議や自然が作りだした岩の形を楽しみました。コース:センター～山神社～下穴～大平山～大平山(昼食)～鞍外し～水源地の穴～茶ヶ床～深窪～山神社～センター。(参加人数:一般41人、ボランティア11人、スタッフ2人)



「春の野草観察会」5月12日(日)

目玉のシランは、例年に比べ開花が10日程度遅れており、まばらにしか咲いていませんでした。しかしシロバナハンショウヅルやイブキシモチツケなどが咲き残っていました。コース:センター～見晴台～不動山～堂金山～エノハの淵～茶ヶ床～山神社～センター。また、カッコウやヒバリ、ホオアカなどの野鳥のさえずりなども聞けました。(参加人数:一般32人、ボランティア4人、スタッフ1人)



「春の虫観察会」5月16日(日)

応募者が53名と大人気でしたが、残念ながら抽選で半分の方の参加とさせて頂きました。(葉の上にいる虫)葉を巻いて揺籃を作るオトシブミやアカガネサルハムシなどのハムシの仲間、(花には集まる虫)アキグミの花に来たハナムグリの仲間やアオスジアゲハなど、(地面にいる虫)前日に仕掛けたトラップに来たオサムシなどを観察しました。「親子で触れ合いながら楽しめた。」「普段見過ごしていた虫が観られた。」などの感想を頂きました。(参加人数:一般25人、ボランティア5人、スタッフ2人)

クワハムシ?



☆ イベント情報 ☆

●野鳥観察会

カッコウなどの初夏の野鳥を観察します
開催日:平成22年6月6日(日)
時間:8:30～12:00
定員:20名
〆切:5月30日(日)必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成22年6月18日(金)
時間:10:00～16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:6月11日(金)

●ノハナショウブ観察ハイキング

梅雨期の野草を観察しながら散策します
開催日:平成22年6月20日(日)
時間:9:30～15:00
定員:20名
〆切:6月13日(日)必着

●案内板整備ボランティア

散策道の木製案内板の更新整備
開催日:概ね毎週土曜日
時間:9:00～15:00
随時受付 *詳細はお問合せ下さい

●草刈ボランティア

平尾台の主な散策道の草刈整備
開催日:平日10回(日程は別途調整)
時間:9:00～12:00
随時受付 *詳細はお問合せ下さい

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●きのこ写真展

福岡きのこ友の会が撮影したきのこ写真展
展示数:約70点
開催日:6月1日(火)～8月30日(月)
場所:センター1F展示室



エノキの葉の上には、よーく観るとエノキハムシやコマツキムシ、ジョウカイボン等の昆虫が沢山いました。

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉7月5日(月)、12日(月)

平尾台の生きもの ガマズミの花に集まった甲虫

ガマズミ(スイカズラ科落葉低木)の花には花粉や蜜を求めて多くの昆虫がやって来ます。また、オスとメスとの出会いの場ともなっています。6月4日の午前中に集まった甲虫類を紹介します。



(時期) 4-7月 (体長) 7-12mm



(時期) 4-6月 (体長) 5.2-5.8mm



(時期) 5-8月 (体長) 6.5-11mm



(時期) 5-9月 (体長) 10-14mm



(時期) 4-8月 (体長) 4-7mm



(時期) 5-9月 (体長) 15-19mm



(時期) 5-7月 (体長) 11-17mm



(時期) 5-7月 (体長) 10-14mm

平尾台スケッチ

キツネノロウソク? (スッポンタケ科)

梅雨時の草地にオレンジ色の変ったキノコが生えていました。スッポンタケ科キツネノタイマツ、キツネノエフテ、キツネノロウソクなどの仲間だと思われそうですが、はっきりした名前は不明でした。

良く見ると、きのこの頭部にハエが集まっていました。臭いを嗅ぐと何ともいえない悪臭がします。この仲間には、胞子を形成するグレバがあり、異臭を放つ粘液状の胞子がついていて、ハエなどの虫に胞子を運ばせています。以前、きのこ観察会の下見で見つけました。

(進藤)



☆ イベント報告 ☆

「初夏の野鳥観察会」6月6日(日)

モズ、キジ、ヒバリ、ホオアカ、カッコウなど約19種の野鳥を観察しました。特に、モズがカナヘビをはやにえをしていたり、ムカデをくわえている姿やカッコウの姿を観られて幸運でした。また、ムラサキやツレサギソウなどの野草やガマズミの花に集まっている昆虫も観察し、平尾台の自然を満喫しました。コース:センター～見晴台～茶ヶ床～深窪～下穴～山神社～センター。(参加人数:一般5人、ボランティア5人、スタッフ2人)



ホオアカ



「ノハナショウブ観察ハイキング」6月20日(日)

ノハナショウブの開花が遅れており、主役抜きでの開催かと危ぶまれましたが、たくさん咲いていました。カキランやコバトソウ、食虫植物のモウセンゴケ、その他トキノソウやヤマトキノソウ、オカウツボなどがまだ咲いており、マイサギソウの開花寸前の蕾も観察しました。また、今年はヤマツツジがたくさん花をつけ、見ごたえがありました。「ボランティアの方々の丁寧な説明がよかった。」「ノハナショウブの観察にぴったりの天気だった(曇一時小雨)。」などの感想を頂きました。(参加人数:一般23人、ボランティア8人、スタッフ2人)



ボランティア研修

「香春岳登山」6月5日(日)

平尾台と同じ石灰岩で出来た香春岳の岩石や植物等を観察しました。香春岳周辺にはマグマと石灰岩が接触して出来たスカルン鉱物が見られます。石灰岩の色も青やピンクがかかった結晶の大きなものが多く、興味津々の様子でした。(参加人数:ボランティア7人、スタッフ1人)



☆ イベント情報 ☆

●きのこ観察会

梅雨期に発生するきのこを観察します
開催日:平成22年7月4日(日)
時間:9:30～14:00
定員:30名
〆切:6月27日(日)必着

●初心者向け山歩き教室[第一回]

自然公園指導員による登山の心得や自然に対するマナーアップ教室(大平山に登ります)
開催日:平成22年7月11日(日)
時間:9:30～15:00
定員:30名
〆切:7月4日(日)必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成22年7月16日(金)
時間:10:00～16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:7月9日(金)

●案内板整備ボランティア

散策道の木製案内板の更新整備
開催日:概ね毎週土曜日
時間:9:00～15:00
随時受付 *詳細はお問合せ下さい
※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●きのこ写真展

福岡きのこの友の会が撮影したきのこ写真展
展示数:135点
開催日:6月1日(火)～8月30日(月)
場所:センター1Fエレベータホール

●生き物写真展

3人の個性ある写真家による水辺、野鳥、トンボの写真展
展示数:30点
開催日:7月1日(木)～8月30日(月)
場所:センター1F展示室

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉8月は休館日なし

7月14日 集中豪雨被害

7月10日から降り始めた雨が、14日には小倉南区で500mmを超え、平尾台の登山道もあちこちで被害が発生しました。14日はセンター二階デッキの水が溢れて館内に流入し臨時休館となりました。
7月23日に片側通行で通れるようになりました。



小倉側14番カーブ付近の土砂崩れ



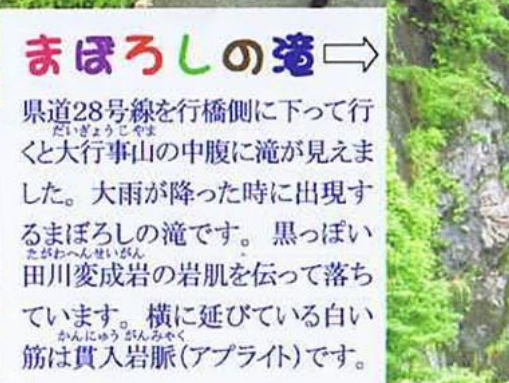
広谷からNTT無線中継所への道 亀裂陥没



行橋側登山口



小倉側11番カーブ付近の土砂崩れ



まぼろしの滝

県道28号線を行橋側に行くと大行山の中腹に滝が見えました。大雨が降った時に出現するまぼろしの滝です。黒っぽい田川変成岩の岩肌を伝って落ちています。横に延びている白い筋は貫入岩脈(アブライト)です。



アブライト岩脈

平尾台の生きもの きのこに集まる虫

スッポンタケ科のキノコは悪臭を放つグレバに、虫を引き寄せて、胞子を運んでもらいます。



キツネノタイヌツとハエの仲間



キヌガサタケとインガキチョウ



キヌガサタケとベッコウヒラタシデムシ

きのこの先端にある黒いグレバにハエの仲間がとまっています。悪臭を放っていました。

インガキチョウが2頭とまっています。ハエだけじゃなく蝶をも誘惑している光景に興奮しました。初めて見ました。蚊がぶんぶん飛んできます。

こちらのシデムシはきのこをむしゃむしゃ食べていました。シデムシは動物の死体やスッポンタケ科のきのこ等もよく食べるようです。

☆ イベント報告 ☆

「きのこ観察会」7月4日(日)

「福岡きのこ友の会」より三名の講師を招き、平尾台の梅雨期に発生するきのこを観察しました。小雨が降る中、山神社一帯できのこを探しました。竹林でいきなり本日の目玉であるキヌガサタケに出会い参加者はヒートアップ、その勢いで次々にきのこを見つけました。一部をセンターに持ち帰り同定した結果、珍しいウラムラサキシメジやキュウバンタケなど30種を超えるきのこが確認出来ました。また、きのこ写真展も見学しました。(参加人数:一般11人、講師3人(+サポート2人)、ボランティア4人、スタッフ2人)



同定の様子

キヌガサタケ

「初心者向け山登り教室」7月11日(日)

自然公園指導員の佐々木公裕さんが講師となり山歩きのコツや自然に対するマナーアップについて学びました。当日は朝方まで雨が降った為、午前中はレクチャールームで座学、大雨・雷注意報が解除された午後からは短距離コースを歩きました。「山登りを始める決心ができました。」「知らない事が多く、役にたちます。」などの感想を頂きました。(参加人数:一般33人、ボランティア9人、スタッフ1人)



草刈ボランティア

実施日:6月2,3,8,9,11,16,22日、7月9,21,22日

毎年6月と9月に実施している散策道や駐車場周辺の草刈。参加された皆さんのご協力のおかげで、たいへん歩き易くなりました。6月に3回雨で流れた為、刈り残しのルートは7月に追加実施しました。(参加人数:ボランティア延べ44人、スタッフ2人)



☆ イベント情報 ☆

●夏の野草観察会

ノヒメユリなどの夏の野草を観察します
開催日:平成22年8月8日(日)
時間:9:30~12:00
定員:20名
〆切:8月1日(日)必着

●ペルセウス座流星群観望会

ペルセウス座流星群や惑星の観察をします
開催日:平成22年8月12日(木)
時間:19:00~22:30
定員:50名(駐車料金300円必要)
〆切:8月5日(木)必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成22年8月20日(金)
時間:10:00~16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:8月13日(金)

●ドキドキ鍾乳洞探検〜不動洞〜

観光化されていない鍾乳洞初心者ケイビング
開催日:平成22年8月29日(日)
時間:9:30~15:00
定員:20名(小学4年生以上)有料
(小中学生500円、高校生以上1,500円)
〆切:8月22日(日)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●きのこ写真展

福岡きのこ友の会が撮影したきのこ写真展
展示数:135点
開催日:6月1日(火)~8月30日(月)
場所:センター1Fエレベータホール

●生き物写真展

3人の個性ある写真家による水辺、野鳥、トンボの写真展
展示数:30点
開催日:7月1日(木)~8月30日(月)
場所:センター1F展示室

石のひっじ だより

平尾台の鍾乳洞 目白洞

8月18日に、目白洞の滝ホールまでガイドケイビングをした際に写した鍾乳洞内部の写真です。長い長い歳月をかけて作られた鍾乳石や滝つぼの水があまりにも素晴らしいので、掲載しました。(観光化されていない鍾乳洞のケイビングをする場合は、経験者のガイドが必要です。)



洞内温度は16度前後で、とても涼しい別天地でした。

平尾台の生きもの

八月中旬の広谷湿原で出会った花とトンボです。サギソウは昨年より10日前後遅い8月10日頃に咲き始めました。当たり前ですが、湿地には湿地に適応した生きものが生息しています。とにかく、今年の夏は暑いです。



盛夏の広谷湿原 8月14日



☆ イベント報告 ☆

「夏の野草(野姫百合)観察会」8月8日(日)

盛夏の為、熱中症などを考慮して午前中のみ観察会としました。三班に分かれて、センター～見晴台～エノハの淵～茶ヶ床～深窪～山神社～センターを歩きました。本命のヒメユリやコオニユリ、キキョウ、ヒナノキンチャク、アキカラマツ、シンジュガヤなど、約50種の野草が観察出来ました。もっと歩きたい方もおられました。安全第一でイベントを開催している為、ご理解していただきました。(参加人数:一般34人、ボランティア9人、スタッフ2人)



「ペルセウス座流星群鑑賞会」8月12日(木)

定員50人に対して、350人を超える応募がありました。会場は自然の郷をお借りして実施しました。当夜は、月明かりの影響も無く、観察前には雲も取れ絶好のコンディションとなりました。3名の講師のお話を聞き、観察をスタートしました。開始早々の20時過ぎに、長い流星が流れ、大歓声があがりました。その後も流れる度に歓声があがりました。終了時間の22時30分までに、多い方で20個、殆どの方が10個前後観察しました。また、天体望遠鏡では金星や木星、さそり座の恒星アンタレスも観察しました。人工衛星も3つ程見つけました。(参加人数:一般310人、ボランティア14人、スタッフ4人)



☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成22年9月17日(金)
時間:10:00～16:00
対象:一般10名(材料費:2,000円)
〆切:9月10日(金)

●ススキと中秋の名月鑑賞会

虫の音を聞きながら、ススキと名月を鑑賞
開催日:平成22年9月23日(木・祝)
時間:18:00～20:30
定員:20名
〆切:9月16日(日)必着

●ドキドキ鍾乳洞探検～書道展～

観光化されていない鍾乳洞初心者ケイビング
開催日:平成22年9月26日(日)
時間:9:30～15:00
定員:20名(小学4年生以上)有料
(小中学生500円、高校生以上1,500円)
〆切:9月19日(日)必着

●草刈ボランティア

平尾台の主な散策道の草刈整備
開催日:平日7回(日程は別途調整)
時間:9:00～12:00
随時受付 *詳細はお問合せ下さい

●案内板整備ボランティア

散策道の木製案内板の更新整備
開催日:9月11日と18日の土曜日
時間:9:00～15:00
随時受付 *詳細はお問合せ下さい

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●アートフラワー 野の花作品展

平尾台に咲く野草を題材にした作品展
展示数:20点
開催日:9月1日(水)～10月31日(日)
場所:センター1F展示室

●写真展～平尾台・秋吉台・石垣島の洞窟

浦田健作博士が撮影したドキドキワクワクがたくさんつまった鍾乳洞写真展
展示数:30点
開催日:9月1日(水)～10月31日(日)
場所:センター1Fエレベータホール

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

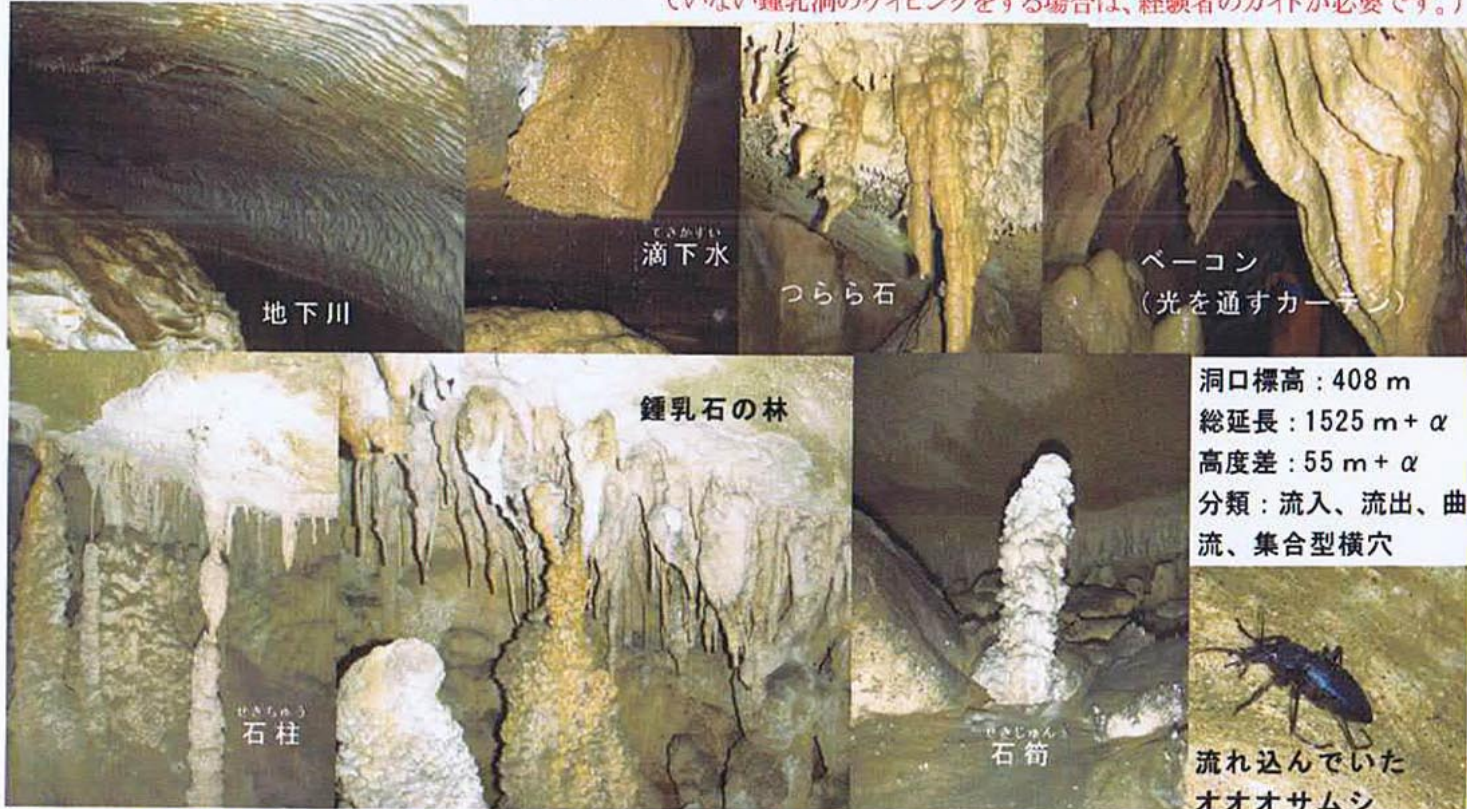
ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の鍾乳洞 青龍窟

9月12日に、ボランティア研修として、東洞口から白龍ホールまでケイビングをしました。日本でも有数の曲流現象(うねうねと曲がりくねった地下川)のある洞窟で、最奥部には手付かずの鍾乳石が見られます。(観光化されていない鍾乳洞のケイビングをする場合は、経験者のガイドが必要です。)



洞口標高: 408 m
総延長: 1525 m + α
高度差: 55 m + α
分類: 流入、流出、曲流、集合型横穴



流れ込んでいたオオオサムシ

☆ イベント報告 ☆

「ドキドキ鍾乳洞探検～不動洞～」8月29日(日)

センターから不動洞まで、徒歩で不動坂を下りました。洞口に近くと冷気が漂ってきます。入口はいきなり1mも水深があり、慎重に入洞。ボランティアが先発し、洞窟入口と入口付近の水深の深い箇所にガイドロープを設置、特に深い箇所は浮き輪を使うなど安全・安心対策も実施しました。コースは右洞の途中までと左洞の奥まで行きました。ボランティアの洞内ガイドも好評で、皆さん大変喜んでいました。また参加したいとの意見が多く、ケイビングの魅力にはまったようでした。(参加人数: 一般33人、ボランティア12人、スタッフ1人)



「ススキと中秋の名月鑑賞会」9月23日(祝・木)

午前中までぐずっていた天気も前線の南下と共に、しだいに雲がとれなんとかイベントを開催できました。中秋の名月は前日の9月22日(旧暦8月15日)で、当日の23日は満月でした。ススキ(アートフラワー作品)やまんじゅうをお供えて、風流を楽しみました。マツムシなどの虫の声をBGMに、お月様や金星、木星等を観賞しました。天体望遠鏡で木星を観察するとガリレオ衛星が4個見えました。また、フィールドスコープで月を観ていると偶然にもコウモリの飛んでいる姿を見ることが出来ました。最後にお供え物のまんじゅうを全員で分けて食べました。当夜は11月中旬並みの寒さでしたが、満足していただけました。(参加人数: 一般25人、ボランティア6人、スタッフ4人)



満月の影 望遠鏡で木星や金星も観察

☆ イベント情報 ☆

● **ススキ観賞ハイキング**
ススキを観賞しながら、草原をのんびり散策
開催日: 平成22年10月11日(月・祝)
時間: 9:30～15:00
定員: 30名
〆切: 10月3日(日) 必着

● **アートフラワー講座**
平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日: 平成22年10月15日(金)
時間: 10:00～16:00
定員: 10名(材料費: 2,000円)
〆切: 10月8日(金) 必着

● **秋の野草観察会**
リンドウなどの秋の野草を観察します
開催日: 平成22年10月27日(水)
時間: 10:00～15:00
定員: 20名(小学生以上)
〆切: 10月20日(水) 必着

● **案内板整備ボランティア**
散策道の木製案内板の更新整備
開催日: 10月16日(土)
時間: 9:00～15:00
随時受付 *詳細はお問合せ下さい

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

● **アートフラワー 野の花作品展**
平尾台に咲く野草を題材にした作品展
展示数: 5点
開催日: 9月1日(水)～10月31日(日)
場所: センター1F展示室

● **写真展～平尾台・秋吉台・石垣島の洞窟**
浦田健作博士が撮影したドキドキワクワクがたっくさんつまった鍾乳洞写真展
展示数: 30点
開催日: 9月1日(水)～10月31日(日)
場所: センター1Fエレベータホール



今月の一枚 9月22日
お盆前に撮ったツバの花が平尾台の山々を背景に美しい光景を演出していました。

平尾台の生きもの キチョウ (シロチョウ科)

(前翅長) 18-27mm

(時期) 5月より羽化、年数回発生。成虫で越冬(食草) マメ科ネムノキやメダヒギなど(分布) 本州～四国～九州～南西諸島

朝、キチョウの写真を撮っている時、偶然にも蛹になりかけている幼虫を見つけました。夕方、様子を見に行くと、既に蛹になっていました。観察センター野草園ではメドハギが主な食草となっています。時が経過すると蛹の体色が薄い緑から黄色っぽく変化していきました。蛹になって9日目には羽化してしまいました。メドハギの回りでは、新鮮な個体が乱舞しています。吸蜜し、交尾をし、産卵する姿を観察しました。

交尾中

脱皮で劇的な変化をする昆虫達に感動!!

蛹化直後

羽化後 (脱皮殻)

9月8日 終令幼虫

9月9日 9時50分

9月9日 15時50分

9月12日

9月15日

9月18日

吸蜜中

石のひっこじ だより

平尾台の野草だより

10月20日を過ぎて、ようやくリンドウの花を所々で見かけるようになりました。例年なら10月初旬には見られます。猛暑の夏から続く高温傾向の気温のせいでしょうか？秋の野草は一般的に例年に比べ2週間以上開花が遅いようです。



竜胆 福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物
紫千振り 環境省絶滅危惧Ⅱ 福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物
葉場山火口 環境省絶滅危惧Ⅱ 福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物
姫平江帯 環境省絶滅危惧Ⅱ 福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物



長刀香薷 福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物
秋の麒麟草 福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物
山路野菊 福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物
梅鉢草 福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物

平尾台の生きもの ヒヨドリバナの花に集まる蝶たち

センター内の野草園に咲いているヒヨドリバナの花に蜜を求めて集まった蝶たちです。アサギマダラを待っていたのですが、姿を見たのは一度きりで写真を撮れませんでした。 10月上旬～中旬



☆ イベント報告 ☆

「ドキドキ鍾乳洞探検～青龍窟～」9月26日(日)

不動洞に続き初心者対象ケイビングの第二段。茶ヶ床から青龍窟までは、準備運動を兼ね、約40分かけて徒歩で移動しました。探検コースは、東洞口(右入口)～旧観光洞～岡田さん家(小ホール)～小川入口～水流～滴下水～九大記念ホール～滴下水～水流～旧観光洞～東洞口(左入口)。途中、ノッチやスカラップなどの侵食形態やキクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ、サワガニなどの生き物も観察しました。また、九大記念ホールでは一斉にライトを消して、暗闇体験を行いました。安全を優先した初心者ケイビングでしたが、ワクワクドキドキの体験に、また洞窟探検をしたいとの声が多かったです。(参加人数：一般33人、ボランティア11人、スタッフ2人)



「ススキ観賞ハイキング」10月11日(月・祝)

風が心地よく絶好のハイキング日和となりました。ススキは昨年と比べ約10日開花が遅れていましたが、小穴周辺や四方台山頂付近は見頃を迎えていました。ススキに寄生するナンバンギセルの花もまだ沢山咲いていました。その他の草花では、ヒキオコシやヤマジノギク、ヤナギアザミ、ノダケなどが観察出来ました。コースはセンター～山神社～深窪～鞍外し～中峠分岐～小穴分岐～四方台への稜線～四方台～中峠～小穴～中峠～茶ヶ床～深窪～山神社～センター。センターイベントのリピーターが三分の二、初参加の方が三分の一でした。(参加人数：一般28人、ボランティア8人、スタッフ1人)



☆ イベント情報 ☆

●初心者向け山登り教室 [第二回]
自然公園指導員による登山の心得や自然に対するマナーアップ教室(周防台に登ります)
開催日：平成22年11月7日(日)
時間：9:30～15:00
定員：30名
〆切：10月31日(日)必着

●アートフラワー講座
平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日：平成22年11月19日(金)
時間：10:00～16:00
定員：10名(材料費：2,000円)
〆切：11月12日(金)必着

●落ち葉アート
落ち葉や木の実で作る自然工作
開催日：平成22年11月23日(祝・火)
時間：9:30～15:00
定員：20名(小学生以上)
〆切：11月16日(火)必着

●案内板整備ボランティア
散策道の木製案内板の更新整備
開催日：11月13日(土)
時間：9:00～15:00
随時受付 *詳細はお問合せ下さい

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●写真展～平尾台・秋吉台・石垣島の洞窟
浦田健作博士が撮影したドキドキワクワクがたくさんつまった鍾乳洞写真展
展示数：30点 **好評につき1ヶ月延長**
開催日：9月1日(水)～11月30日(火)
場所：センター1Fエレベータホール

●自然情報写真展
センター職員が撮影した平尾台自然情報展
展示数：30点
開催日：11月2日(火)～11月30日(火)
場所：センター1F展示室



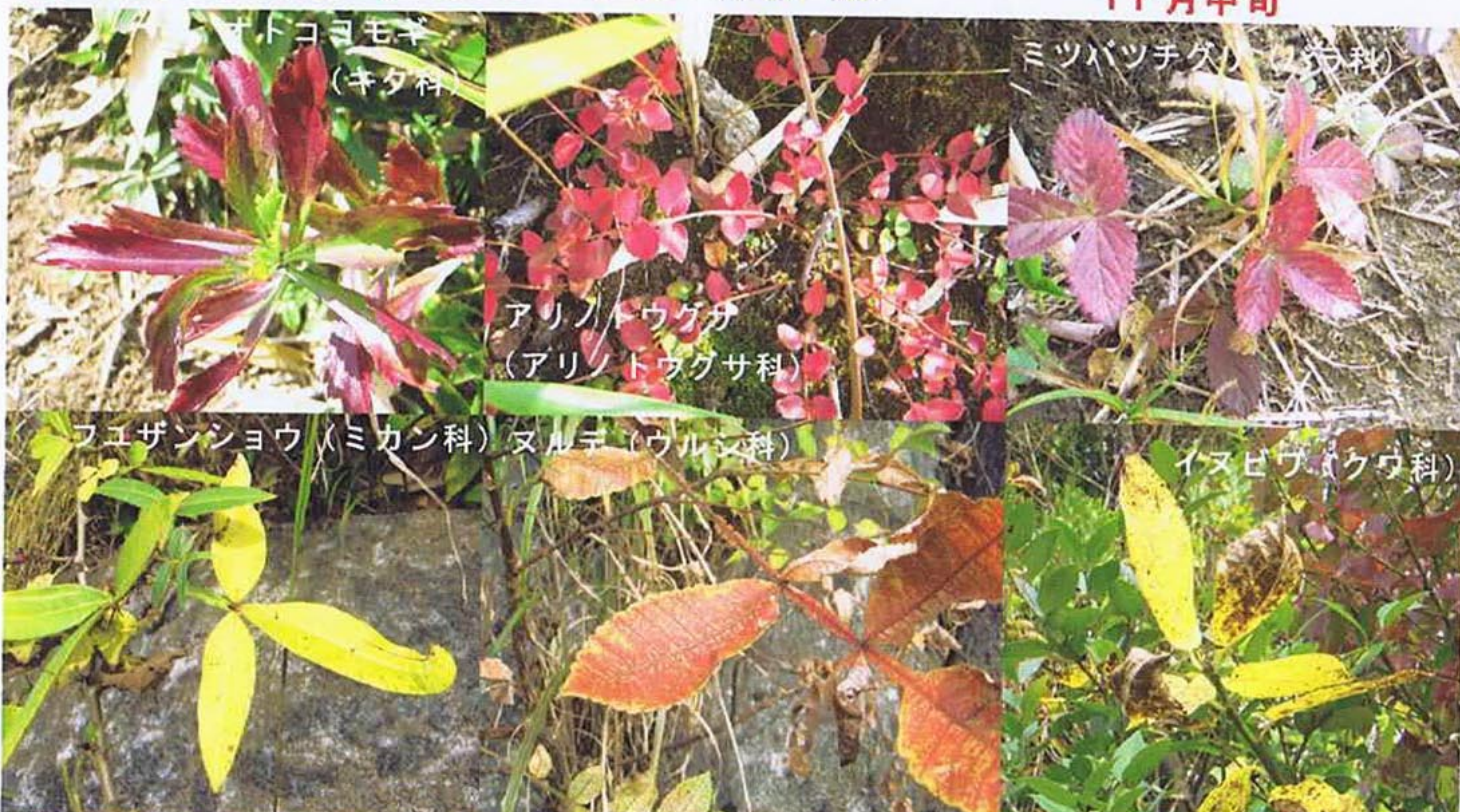
貫山中腹の林道でセイタカアワダチソウの蜜を吸っているアサギマダラに出会いました。

石のひっこじ だより

平尾台の野草だより 紅(黄)葉

10月下旬から11月初旬にかけて急に気温が低下し(初霜11月4日)、紅葉(黄葉)が進みました。

11月中旬



平尾台の生きもの 晩秋の虫たち

11月上・中旬

晩秋にも、様々な虫が活動しています。姿形は地味ですがたくましく生きています。

ハッカハムシは比較的大きなハムシの仲間、腹面は青紫色をしています。草地をゆっくり歩いていました。触ると死んだふりをします。



ハッカハムシ(ハムシ科)
(時期)3月～11月
(食草)ハッカなどのツツジ
(分布)北海道～九州

ツマグロスケバはウンカやハゴロモの仲間、草木の樹液を吸います。成虫は秋に多いそうです。



ツマグロスケバ(テングスケバ科)
(時期)7月～9月
(体長)11-15mm
(食樹)アカメガシワなど
(分布)本州～四国～九州～沖縄



ヒラアシハバチ(ハバチ科) 幼虫
(時期)6月と8月
(食樹)ハンノキ、ヤシヤブシ
(分布)北海道～本州?

ヒラアシハバチの幼虫は事務所横のオオバヤシヤブシの葉を集団で食べていました。葉に触れるとお尻を反らせます。毒針を持たない植物食の原始的なハチの仲間だそうです。



ツコムシ(キリギリス科) ツコムシの仲間は優しい形や色をしており動作も比較的ゆっくりなので、草むらでは気づきにくいですが、意外とたくさん生息しています。
(時期)7月～11月
(体長)29mm-37mm
(食草)各種植物(ヨモギ、ハキ)
(分布)北海道～九州

☆ イベント報告 ☆

「秋の野草観察会」10月27日(水)

前日から冬型の気圧配置で冷たい風が吹き、朝は少し寒かったけれど、しだいに晴れ間が広がり暖かくなりました。コース:センター～不動坂～不動山～見晴台～エノハの淵～貝殻山山麓(昼食)～茶ヶ床～深窪～山神社～センター。観察した主な野草・ナンバンハコベ・ヤナギアザミ・ヒメシオン・サワヒヨドリ・ヒキオコシ・ヤマハッカ・ノダケ・ヒメヒゴタイ・ガガイモの実・リンドウ・アキノキリンソウ・ヤクシソウ・ハバヤマボクチ・メガルガヤ・オガルガヤ・ナワシログミ・ムラサキセンブリ・ネナシカズラの実・シマカンギク蕾・ウメバチソウ・ナンバンギセル・センブリ・シロヨメナなど約30種。平尾台の秋の野草を楽しんで頂きました。フィールドマナーについても学びました。(参加人数:一般36人、ボランティア10人、スタッフ1人)



「初心者向け山登り講座[第二回]」11月7日(日)

当センターボランティアの佐々木公裕さん(自然公園指導員、環境カウンセラー)が講師となり、山登りの基本的な服装や登り方、フィールドマナーなどの話をして頂き、実際に山登りを体験しました。コースは、センター～山神社～茶ヶ床～中峠～周防台～桶ヶ辻～天狗岩～芳ヶ谷～茶ヶ床～山神社～センター。5班に分かれ、ボランティアの皆さんが、歩き方や平尾台の自然について解説をしながら歩きました。安全重視の楽しい山登りを経験して頂きました。参加人数:一般37人、ボランティア12人、スタッフ1人)



☆ イベント情報 ☆

●鍾乳洞つうもり観察会 in 社産洞

鍾乳洞に棲むコウモリなどの洞窟性生物を観察します。
開催日:平成22年12月5日(日)
時間:9:30～12:00
定員:30名

参加費:高校生以上300円 小中学生200円
〆切:11月28日(日) 必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成22年12月10日(金)
時間:10:00～16:00
定員:10名(材料費:2,000円)
〆切:12月3日(金) 必着

●ミニ門松づくり

お正月用に小さな門松づくりにチャレンジ!
開催日:平成22年12月19日(日)
時間:9:30～12:00
定員:20名
参加費:1グループ(4名まで)500円
〆切:12月12日(日) 必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●カルスト文化祭

平尾台をテーマにした絵画、写真、俳句、工作物など、一般募集した作品を展示します
展示数:応募された点数
開催日:12月1日(水)～1月30日(日)
場所:センター1F展示室

今月の一枚

シロハラ(ツグミ科)



冬鳥 11月4日
事務所の窓ガラスに激突、脳震盪を起こし、約20分後に飛び立ったシロハラ。

+ | ノゴマ(ヒタキ科)

11月13日



新鳥
平尾台自然の郷の窓ガラスに激突したノゴマのオス。センター初確認。春と秋の渡りの季節に窓ガラスへの激突が多いようです。